

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	林道の整備		事業番号、事業名	37 県営林道開設		補助・単独別	補助	林務部 信州の木振興課			
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度末進捗率	進捗状況			
1	たぐちじゅつこくとうげ 田口十石峠 (佐久市・佐久穂町)	林道開設工 L=28,460m W=4.0m~5.0m (工期:H3~H25)	開設工 L=328m W=4.0m	開設工 L=526m W=4.0m	開設工 L=14,576m W=4.0m	必要性 A	78.4%	H22年度末の開設延長:13,884m	本路線は、森林整備が必要な公有林が多く、林道整備の必要性が高いため、事業を継続とする。	必要性が認められる。	「継続」
		30億4500万円	8937万3千円	1億1000万円	6億5898万3千円	重要性 A	特記事項 H20年度再評価:工法見直し 1500万円縮減 H15年度の再評価で休止となった区間について、地元と調整の上検討を進める必要がある。				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=2.01				
						緊急性 A	住民参加状況等 簡易な維持管理は、地元(入沢地区、余地地区、大日向地区)が協力している。				
2	はせたかとお 長谷高遠 (伊那市)	林道開設 L=27,500m W=4.0m~5.0m (工期:S55~H28)	開設工 L=0m(橋梁仮設) W=4.0m	開設工 L=90m(橋梁 L=54m) W=4.0m	開設工 L=2,157m W=4.0m	必要性 A	89.2%	計画どおり進んでいる。 H22年度末の開設延長:25,343m	本路線は、森林整備に加えて伊那市高遠町と伊那市長谷を結ぶ国道152号線の災害等の迂回路として地元住民の期待は高いため、事業を継続とする。	必要性が認められる。	「継続」
		57億円	1億円	1億1500万円	6億1740万1千円	重要性 A	特記事項 H20年度再評価:工法見直し 1億1100万円縮減 工期延長8年				
						効率性 B	H22年度全体計画変更:線形見直し 2億円1,700万円減 延長1,700m減 B/C(費用対効果)=1.19				
						緊急性 B	住民参加状況等 林道に被災(法面崩落、路面洗掘等)があった場合、地元住民や所有者が市役所に通報するなど協力している。				
3	ゆみ また 弓の又 (阿智村)	林道開設 L=12,295m W=5.0m (工期:H元~H26)	開設工 L=80m	開設工 L=30m	開設工 L=409m	必要性 A	93.5%	計画どおり進んでいる。 H22年度末の開設延長:11,886m	本路線は、森林整備に加えて中央道園原インターチェンジと下伊那郡西部地域を直結することから、地域振興として地元住民の期待は高いため、事業を継続とする。	必要性が高い。	「継続」
		47億円	7896万円	2980万円	3億7000万円	重要性 A	特記事項 H20年度再評価:継続				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.54				
						緊急性 C	住民参加状況等 簡易な維持管理は、地元大野地区が協力している。				
4	おおしまうじのり 大島氏乗 (喬木村)	林道開設 L=8,200m W=4.0m (工期:H6~H28)	開設工 L=100m	開設工 L=150m	開設工 L=2,281m	必要性 A	69.9%	計画どおり進んでいる。 H22年度末の開設延長:5,819m	本路線は、森林整備に加えて三遠南信自動車道のアクセス道となることから、地域振興として地元住民の期待は高いため、事業を継続とする。	必要性が認められる。	「継続」
		27億3500万円	5000万円	8030万円	8億2300万円	重要性 A	特記事項 H21年度再評価:工法見直し 700万円減 工期延長6年				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.87				
						緊急性 B	住民参加状況等 簡易な維持管理は、地元(大島地区、氏乗地区)が協力している。				

分野	林道の整備		事業番号、事業名	37 県営林道開設		補助・単独別	補助	林務部 信州の木振興課			
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
5	なかもりやま 高森山 (大鹿村)	林道開設 L=17,831m W=4.0m (工期: S58 ~ H28)	開設工 L=100m	開設工 L=80m	開設工 L=2,221m	必要性 B	83.8%	H22年度末の開設延長: 15,610m	本路線は、森林整備が必要な県行造林、公社造林地が多く、林道整備の必要性が高いため、事業を継続とする。	森林整備の緊急性が認められる。	「継続」
		33億円	5000万円	4000万円	5億3400万円	重要性 A	特記事項 H20年度再評価: 工法見直し 2000万円減				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.65				
6	ちとせ 千歳 (飯田市)	林道開設 L=26,818m W=4.0m (工期: S37 ~ H28)	開設工 L=164m	開設工 L=70m	開設工 L=1,095m	必要性 A	90.6%	H22年度末の開設延長: 25,723m	本路線は、森林整備に加えて南信濃和田地区、泰阜村柘城地区から飯田市への災害等の迂回路として、地域住民の期待は高いため、事業を継続とする。	必要性が認められる。	「継続」
		55億7000万円	5000万円	4000万円	5億2500万円	重要性 A	特記事項 H20年度再評価: 工法見直し 2000万円減 工期延長8年 希少鳥類であるクマタカに配慮しながら工事を進める必要がある。 B/C(費用対効果)=1.13				
						効率性 B	住民参加状況等 草刈、側溝清掃などの維持管理は地元(千代地区、和田地区、柘城地区)が協力している。				
7	はくばあたりひがしやま 白馬小谷東山 (小谷村・白馬村)	林道開設 L=11,700m W=4.0m ~ 5.0m (工期: S48 ~ H29)	開設工 L=484m W=4.0m	開設工 L=240m W=4.0m	開設工 L=1,929m W=4.0m	必要性 A	69.3%	計画どおり進んでいる。 H22年度末の開設延長: 9,771m	本路線は、森林整備に加えて災害等の迂回路として、地域住民の期待は高いため、事業を継続とする。	必要性が認められる。	「継続」
		24億1400万円	9840万円	5000万円	7億4154万8千円	重要性 B	特記事項 H20年度再評価: 工法見直し 600万円減 工期減11年 B/C(費用対効果)=1.18				
						効率性 A	住民参加状況等 簡易な維持は地元黒川地区が協力している。				
8	とやざわ 戸谷沢 (須坂市)	林道開設 L=7,672m W=4.0m (工期: H4 ~ H25)	開設工 L=154m	開設工 L=250m	開設工 L=683m	必要性 B	82.1%	計画どおり進んでいる。 H22年度末の開設延長: 6,989m	本路線は、森林整備に加えて貴重な水源地となっていることから、地域住民の期待は高いため、事業を継続とする。	森林整備の緊急性が認められる。	「継続」
		9億5000万円	6000万円	6000万円	1億7031万8千円	重要性 B	特記事項 H20年度再評価: 工法見直し 2100万円減 工期延長2年 H21年度全体計画変更: 工法変更 1億円増 延長66m増 B/C(費用対効果)=1.36				
						効率性 A	住民参加状況等 簡易な維持は地元(米子地区、豊丘地区)が協力している。				

分野	林道の整備		事業番号、事業名 37 県営林道開設			補助・単独別	補助	林務部 信州の木振興課			
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H22年度	H23年度	H23年度以降		H22年度未進捗率	進捗状況			
合計	8箇所	284億1400万円	5億7673万3千円	5億2510万円	44億4025万円		A: 配点の75%以上 B: 50%以上75%未満 C: 50%未満				